

# 発見！まちのグルメ

地域とつながるカフェ

パークコーヒー  
PARK COFFEE



お店の2階は東急電鉄のオフィスです

大井町イトーヨーカドー駐輪場の出入口側から一本入った場所に、白い壁のお洒落なカフェ【PARK COFFEE】があります。

2021年10月、東急電鉄のオフィスの1階に「地域と関わりが作れるカフェ」というコンセプトでオープンしたそうです。「新たな友人や遊びと出会う場所。だれでも自由に立ち寄れる公園のようなカフェになればいいな」という思いを込め、【PARK COFFEE】という店名にしました」と笑顔で取材に対応してくださったのは、ふくとみ あきこさんです。



お店のベンチは電車の廃材を利用

店内のインテリアをよーく見ると、何処かで見たことのある物が…網棚？座席？中吊り広告？

電車の廃材が、棚やベンチシート、入り口やお手洗いの取っ手などおしゃれな家具に大変身！！スタッフのエプロンも東急電鉄の作業着をリメイクして作った SDGs の取り組みです。



お店に入ると手書きの大井町の地図

毎月様々なイベントやワークショップを開催、「PARK COFFEE JOURNAL」というフリーペーパーを発行、リレー方式で大井町のお店を紹介するなど、まさに地域密着型のカフェであることが感じられました。

また、子育て支援の一環としてのワークショップもあり、カフェには珍しいおむつ交換台が設置されていました。小さなお子さんが一緒でも安心ですね。

カフェとしての利用はもちろんのこと、「人と人」「人と地域」がつながるきっかけとして皆さん足を運んでみてはいかがでしょうか。

【永見・濱田】\*\*\*\*\*

営業時間  
月、火、木、土、日 10:00~18:00  
毎週水・金/第1、第3土曜 10:00~20:00  
定休日なし  
Mail: info@parkcoffee-oimachi.com



その日の朝食

イラスト  
くら  
らん  
つぱ  
る

「おしゃれなビビットさん」  
かや（大井4丁目在住）

母：おはよう！  
カーテン開けるよ～  
息子：あーまだ寝ていたいから開けないでえ～  
母：今日は早く幼稚園行く日でしょ  
～カーテンをサッと開ける～  
息子：ひゃあ！まずしいい～  
母：え…確かに電気つけてないけど（笑）

☆☆☆☆☆☆☆☆

朝からまずしい発言…。その朝の朝食メニューは少しぜいたくメニューにしました(^^;;)【高木】

絵画のような雰囲気でも完成度がとても高い！帽子や服のデザイン、小物の装飾も一つ一つこだわり鮮やかに描かれていて、タイトル通りとてもオシャレで素敵です^^ この魅力的なセンスを活かして、どんどん作品を描いてほしいです！【五十嵐】

姿を見ることが、お仕事のモチベーションになっているそうです。

小出さんは近所の人に喜んでもらうために、従業員の方々と一緒に月2回のペースで鹿島庚塚(かしまかのえづか)児童遊園の清掃を行っているそうです。最近では、この活動もよく知られるようになり、言葉をかけてくれる人も多くなったと喜んでお話しされておりました。緑色の洋服を着た人たちが公園を掃除していたら、是非、声をかけてみてくださいね。

趣味はゴルフと旅行で、国内旅行では温泉や現地の料理を食べること、海外旅行では異文化に触れ、新しいことを知ることを楽しみを感じているとのこと。今までは知らなかったことを知るとは、生活をより楽しくするので、みなさんも是非、興味あることにどんどん挑戦して、色々なことを経験してください！とお話しされていました。

次回は、美容室 ウェーブの筒井さんからお話を伺います。

【中村】

わ! しなが輪  
第26回  
地域の方を紹介するコーナー。次の方を紹介して頂き『地域の輪』をつなげていきます。

こいで あきら  
小出 明さん

小出不動産の小出明さんは、1952年創業の小出不動産を9年前から継がれた、2代目のご主人です。家やマンションなど、さまざまな建物や土地を取り扱い、開発、販売等の不動産業務を行っています。お客様の希望が叶って、笑顔になった

## 知っておき隊！備えておき隊！ 「災害時のトイレ事情」

最近では災害への意識が高くなり、対策を講じている方も多いと思いますが、災害時のトイレ事情をご存知でしょうか。昨年12月21日に行われた「大井第二地区防災講演会」での、NPO法人日本トイレ研究所の代表理事 加藤篤さんのお話が、とても興味深く、すぐに役立つものでしたので、皆さんとシェアしたいと思います。

**「我慢」は「危険」**

避難所や仮設トイレの実態は衝撃的でした。数も少なく、臭い汚い暗いとなると、トイレに行かないよう水分を減らしがちになります。不衛生+ストレス+水分不足では健康状態が悪くなるのもうなずけます。悪循環を引き起こすトイレの我慢は絶対にNGです。

**仮設トイレが届くまで**

家や避難所のトイレも水が出ないと使えません。仮設トイレが避難所に行き渡るまでに要した日数は、データでは3日以内の自治体が約3割、7日以内でも約半数でした。

**7割の人が6時間以内**

地震が起きてから6時間のうちに約7割の人がトイレに行きたくなったというデータもあります。飲食は多少我慢できても、トイレはそうはいきません。「背に腹はかえられぬ」とその辺ですましてしまうと、さあ大変！流す水もなく時間が経つと…臭いは激しく不衛生です。

**持って安心 携帯トイレ**

組立式の便器がなくても自宅のトイレでも使えます。仮に水が出ても、排水管が損傷している事もあるので、発災後しばらくは水は流さず、携帯トイレを使用するのが良いそうです。

加藤さんは日頃から携帯トイレを持ち歩いているそうです。講演後、速攻で私も準備しました。災害時の不安が一つ和らいだ気がしますが、「使わずに済んだ」が何よりですが、皆さん是非ご準備を！

【取材嶋村・レイアウト野瀬】

講演会ではスライドを見ながら、災害時のトイレ事情についての話を伺いました。

↑昨年12/21の講演会での様子 右側に立っているのが加藤さん

**凝固剤VS吸収シート**

大きく分けると、コンパクトな「凝固剤を振り掛けて固める」タイプと使用が楽な「吸収シート」タイプ。共に専用のビニール袋に排泄して固めます。大きさは5個入の凝固剤タイプでDVDケース2枚程度でした。

性能によって臭気漏れや吸収能力が違っているので、一度にたくさん買わず、いくつか試してから買うのがお薦めだそうです。

**回数×人数×3〜7日分**

まず一日に何回トイレに行くか数えてみましょう。私は8回位でした。3〜7日の家族分を用意しておくのが安心です。

